

○閉会挨拶 江口 有隣 警察庁長官官房審議官（犯罪被害者等施策担当）

警察庁で犯罪被害者等施策を担当しております審議官の江口でございます。

犯罪被害者月間中央イベントの閉会に当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

本日は、大変お忙しいところ、大勢の方に御来場・御視聴いただきまして誠にありがとうございました。

また本イベントに御出演をいただきました、清家様、藤澤様、橋本様、南様、本当にありがとうございました。

基調講演では、清家様から「千鶴～犯罪被害者になる～」と題して、14年前に突然、お嬢様を奪われた御遺族としての大変お辛い御経験等についてお話していただきました。

犯罪被害によって直面をされた困難や苦しい心情、支援の必要性などについてもお話をいただいたところでございます。御来場・御視聴の皆様にも、犯罪被害者の方々が置かれる状況について理解を深め、何かを感じていただけたのではないかと考えております。

またパネルディスカッションでは「みんなでつなげる途切れない支援」をテーマとして、実際に支援に携わっている方々のそれぞれのお立場から、清家様にも加わっていただきまして、御議論をいただいたところでございます。

犯罪被害者、その御家族、御遺族の方々がその時々で必要な支援を適切に受けることができるよう、関係機関・団体による途切れない支援、あるいはその実現に向けた取組の重要性、そして国民の皆様を含めた社会全体での支援のあり方について、皆様のお考え、御理解を深める一助となっていれば幸いです。

政府におきましては、これまで4次にわたり策定されました犯罪被害者等基本計画に基づきまして、関係する制度あるいは取組体制の充実強化を推進し、犯罪被害者等施策を着実に進展させてまいりました。

これらを更に発展させるべく、現在、来年度から実施される第5次犯罪被害者等基本計画の策定に向け、国民の皆様の御意見もいただきながら、検討を進めているところでございます。



警察庁といたしましては、犯罪被害者等施策の政府の司令塔として、国家公安委員会の御指導もいただきながら、各種政策が一層充実したものとなるよう、関係する皆様と共に取り組んでまいりたいと考えております。

また、支援の取組を実効的なものとするためには、国民の皆様の御理解と御協力が不可欠であります。

最後になりますけれども、本日のイベントをきっかけに、国民の理解と支援の輪が広がり、犯罪被害者の方々を社会全体で支えていく気運が更に高まることをお祈り申し上げまして、閉会の挨拶とさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。